

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	評価の刷新－学習科学による授業モニタリングシステムの開発と社会実装－
研究代表者	白水 始 (東京大学・高大接続研究開発センター・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、授業モニタリングシステムを開発することによって教育における評価観を刷新することを目的とする。これまで応募者は認知科学に基づく新たな学習理論の構築を実証的に進め、その研究成果を基に教育現場における革新的な授業理論や評価を提言している。本研究は、それを更に発展させ、焦点を良く絞った独創性・革新性が高い先駆的なものであり、研究成果を直接教育現場に波及させることが期待される。</p> <p>このように、本研究は、当該研究分野をリードし、日本の科学技術発展の将来を担う後継者養成に大きく貢献する可能性を持つ。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>